

海外情報連絡会 令和5年度第1回講演会

日時：2023年6月1日（水）9：00－10：00（日本時間）

場所：Zoom オンライン

題目：How ANS is Advancing Nuclear Science and Technology and How You Can Help

邦題：ANSは原子力の科学技術をどのように推進しているか、そして貴方はどのように支援できるか？

講師：Steven A. Arndt（President, American Nuclear Society／米国原子力学会長）

参加者：約50名

事前公開された資料に基づき、米国原子力学会による原子力の普及と発展に関する取り組み状況についての講演が行われた。講演後、活発な質疑応答があった。その内容は以下の通りである。

Q1)

本日の講演で述べられた、二者間の協力について非常に興味がある。何か連携できる分野があるかどうか、ご意見を伺いたい。

ANS 会長)

もちろん協力できると思う。「国際委員会」は少し再編され、現在ANS内では「国際評議会」と呼ばれているが、同様の機能を維持している。日本と米国が連携できる分野は幾つかあると思う。出版物の発行が情報と情報源の両方を提供する分野であることは明らかだが、我々は更に踏み込んで、青少年（初等中等学校であるK-12）へのアウトリーチについても考えている。日本側で活用するのであれば、我々は喜んでカリキュラムとリソース（残念ながら英語で作成されているので翻訳が必要だが）を提供したいと思う。また、日本国内で原子力関係者とニュースメディアがより良好なコミュニケーションを確立するためならば、喜んで協力させていただく。このような協力は我々にとっても日本側にとっても非常に有益である。

質問者)

ありがたい御提案だと思う。今、日本では原子力にとって良い風が吹いている。日本の原子力学会としても二者間の協力には非常に前向きであり、引き続き協議していきたいと考えている。

Q2)

講演の中でも触れられていたが、特に革新型原子炉や小型モジュール炉（SMR）の分野では、NuScaleやTerraPower等の新規参入者が米国で活発に活動を展開している。日本の原子力産業でも新規参入者が台頭して来ているが、参入の障壁は依然として高く、イノベーションを実現するのが難しい。米国の原子力産業において、ANSが新規参入者の参入障壁を下げようとする取り組みをしているのなら、教えていただきたい。

ANS 会長)

とても良い質問だと思う。米国では、依然として問題となっているが、障壁を下げるために米国政府の後援による幾つかのプログラムが実施されている。

その 1 つは、エネルギー省が後援するプログラムで、米国の国立研究所で新しい研究や新しい実験のためのツールを開発するために、新規参入企業にクレジットを提供するものである。助成金に基づいており基本的に無料なので、コストの低減に役立つ。ただし、それで全ての問題を解決するかと言えばそうではなく、多少役に立つという程度のものである。

我々が現在取り組んでいるもう 1 つの分野は、ライセンス費用の障壁を下げることである。これは非常に高額になる場合があり、現在それを実現するための取り組みが行われている。まだ始まったばかりで完璧ではないが、イノベーションはあっても資金的な裏付けがあるとは言えない新規参入の企業に、ライセンス費用と時間を削減する機会を提供しようとしている。これは有益な手法であり、幾つかの新しい革新的な技術を育てていると思う。

もっと他に出来ることはあるかもしれないが、上記の 2 つは重要な領域だと思う。即ち、1 つはライセンスと設計作業を行うためのデータの開発であり、もう 1 つは実際のライセンス過程そのものに関わるものである。我々は、これら 2 つのプログラムを通じて、両方の障壁を下げようとしている。

質問者)

米国の原子力業界で新規参入を奨励するために何が行われているか、よく理解できた。

司会者)

講演会の時間は超過しているが、日本側から追加質問が生じた場合に（メール等で）それを送付すれば回答していただけるか？

ANS 会長)

もちろん対応させていただく。

以上